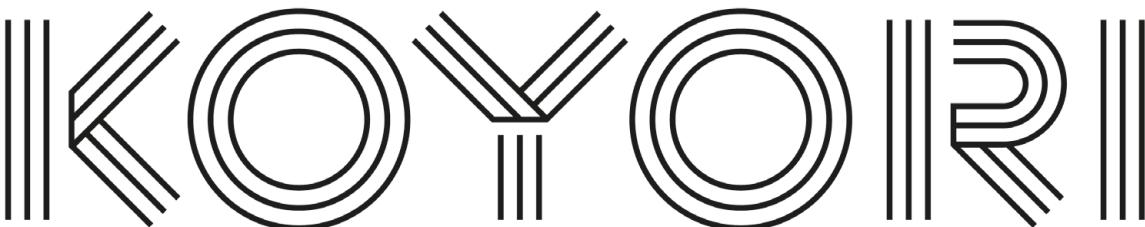


# 日本のものづくりの力を結集 新しいグローバルアライアンスブランド KOYORI 2022年6月 ミラノにて初披露

ファーストコレクションはロナン&エルワン・ブルレック、ガムフラテージによるチェア  
飛騨産業と天童木工がものづくりに参加



## ローンチスケジュール

6月3日（金）～12日（日）グローバルローンチ  
トリエンナーレ・ミラノ【ミラノデザインウィーク期間】

7月21日（木）～23日（土）日本ローンチ  
東京 アクシス ギャラリー

2022年6月、日本のものづくりの力を結集させた全く新しいグローバルアライアンスブランド、KOYORI（コヨリ）が誕生します。

KOYORIが目指すのは、

- 一 絶対的な信頼性のある品質を備えたボーダレスなデザインの家具とインテリアアクセサリーを提供し、ライフスタイルブランドとして成長していくこと。
- 一 日常において新しい価値を志向する未来を築くデザインであると同時に、日本のものづくりの歴史と審美性を宿すプロダクトを世界に向けて普及し続けること。

日本全国の優れたものづくりを行う企業と、そのものづくりを世界に伝える力を持つ企業がアライアンスを組み、卓越した日本の製造技術と国際的なコンテンポラリーデザイナーが協働していきます。

グローバルローンチとして、ミラノデザインウィーク期間中、”デザインミュージアム トリエンナーレ・ミラノ”にて世界初お披露をします。

ファーストコレクションは、パリを拠点に活躍する兄弟デュオ、ロナン&エルワン・ブルレック（Ronan & Erwan Bouroullec）とコペンハーゲンを拠点に活躍するデュオ、ガムフラテージ（GamFratesi）デザインによる5モデルの木製チェアを発表します。

このブランドローンチには、無垢の曲木家具を得意とする飛騨産業、成形合板を得意とする天童木工という、卓越した技術と歴史ある家具メーカー2社が、KOYORIのものづくりに参加しています。

KOYORIの取り組みにご注目ください。

「モノに宿るシンプルで繊細な美しさ、各商品の背後にある職人の技に対するひたむきさ、情熱、献身的な精神や、商品を唯一無二の作品にする完璧主義性、勤勉さ、配慮を世界中に伝えたい、そんな想いをKOYORIは持っています」—KOYORIエグゼクティブ・ディレクター、神田宗俊

## ロナン&エルワン・ブルレックによる新作チェア（3モデル）

「我々が目指したのは各メーカーの技術を充分に活かした集合知プロジェクトです。木の匠である職人のエッセンスをデザインに取り入れることを試みました」  
——ロナン・ブルレック

ブルレックは、KOYORIプロジェクトは革新的であるとともに、アライアンスマーカーの価値や特別な技術力を最大限に表現することが目的だったと話します。



### Kawaraアームチェア オーク4色展開、板座または張座

成形合板を使った椅子で、シンプルな佇まいでありながら、新しさを感じられるデザインです。背と肘と座の3次元的な曲面が特徴的な椅子で、やわらかな曲面は美しく、座り心地を高めるとともに強度や安定性にも寄与しています。魅力的で心地の良い椅子は、食事をしたり、会議をしたり、長い時間座ることが必要な時にも重宝いただけます。

「Kawaraアームチェアは、大きな箱のような非常に柔らかい殻の中に包み込まれるような心地よさを持ったダイニングチェアです。食卓や会議テーブルの周りに置くと存在感があり、多様なフレーム色や皮革・布地の張座も選択可能です」

——ロナン・ブルレック



### Musubiアームチェア オーク・ナチュラル／ビーチ・ブラック

見事な形に、かつ効率的に彫刻された木部パーツが特徴的です。背板、肘、座板のそれぞれの彫刻的なパーツをひとつに集結させたような椅子です。背板と肘は、曲木技術と5軸NC切削加工を用いて、無垢材を削り込んだ彫刻的な3次元形状を実現しました。背と肘、肘と脚を結んだような意匠になっていて、それぞれのパーツは高い精度によって接合されています。

「椅子がもつ美的そして感触的な価値観を表現し、座る時だけではなく、触れた時に心地よいと思えるような椅子を目指しました」

——ロナン・ブルレック



### Shakuチェア ビーチ・ブラック

小ぶりでありながらも高めの背もたれがやわらかな座り心地を実現してくれます。座板が背板をくわえているような造形表現は、加工精度の高さにより実現しました。また、背と座についたカーブが座り心地をより一層快適なものにしてくれます。

「とても温かく、綺麗でシンプルなこの椅子はある意味椅子の歴史を物語るような椅子です。何世紀も昔に存在したかのようで、しかしながらこの椅子は更に精緻で明確です」

——ロナン・ブルレック

## ガムフラテージによる新作（2モデル）

「KOYORIは日本のストーリーを伝えるブランドです。KOYORI商品はそれぞれが『章』であり、ひとつひとつ違うストーリーを伝えていきます。KOYORI商品のクラフトマンシップから醸し出される尊厳や情熱そして品質を、人々が日常的に感じてくれたら嬉しく思います」 —ガムフラテージ

ガムフラテージにとってKOYORIとのモノづくりは、木が持つ可能性をより広く、そして実直に表現する機会になりました。MiauアームチェアとEdahaチェアは美しい商品であるとともに、ガムフラテージのルーツの一つでもあるデンマークの伝統やデザインを再解釈したとも言えます。

**Miauアームチェア** オーク・ナチュラルまたはウォールナット・ナチュラル、板座または張座



肘から背もたれ、そしてまた肘へとつながる部材は、1本曲木で加工しています。接合箇所がないため、スッと木目が繋がって美しく、また目が通っているため、板から切り出したものと比べて強度が得られます。背板は、曲木をした後に背当たりが良くなるようにさらに削り出し、板座の座面はお尻の形状に合わせて3次元に切削することにより、とても心地よい座り心地を実現しました。

「Miauアームチェアは猫のようなモチーフを取り入れることで、人間的な温かさをもつ優しいデザインにしました。繊細なディテールが散りばめられていて、特にアームの部分は思わず触りたくなるような、そして木そのものの素材の美しさを再発見できるようなディテールになっています」

—ガムフラテージ

**Edaha チェア** オーク・ナチュラルまたはウォールナット・ナチュラル、板座または張座



ガムフラテージは日常的に自然のモチーフから参考にしたり、インスピレーションを得ています。Edaha チェアは、その名のとおりまるで枝の上に葉がそっと置かれたような構造をしています。

「枝部分（構造）そして葉部分（座面）はこの椅子の核となる要素でした。まるで枝の上に葉が置かれたように、構造が座面をやさしく支えるような形を目指しました。全てが成形合板で出来ていますが、それぞれの部分が異なる加工技術によって作られているので、工業的でありながらも木が持つ自然な美しさを充分に表現したナチュラルな椅子になっています」

—ガムフラテージ

## 関係者プロフィール

### Ronan & Erwan Bouroullec (ロナン&エルワン・ブルレック)



1971年と1976年にそれぞれカンペール（ブルターニュ）で生まれたフランス人の兄弟デザイナー、ロナンとエルワン・ブルレックは、1999年から協働しています。工業デザインから工芸品、大規模な生産開発から研究、オブジェクトから公共スペースまで、ロナンとエルワンの作品は複数の表現分野にまたがり、私たちの日常生活に取り入れられています。

Photography: Alexandre Tabaste

### Gamfratesi (ガムフラテージ)



ガムフラテージスタジオは、デンマークの建築家スティーネ・ガム（Stine Gam）とイタリアの建築エンリコ・フラテーシ（Enrico Fratesi）によって2006年に設立されました。スタジオはコペンハーゲンを拠点としています。ガムフラテージのデザインは、伝統とリニューアルの融合から、素材と技術への実験的なアプローチで創造力を発揮します。

Photography: Petra Kleis

### 神田宗俊（こうだむねとし）



KOYORIのエグゼクティブ・ディレクター。

神田は国際貿易とブランディングのエキスパートとして、国産ブランドの販売拡大や展開に従事し、日本のクラフトマンシップを世界的な普及活動に貢献してきました。知識と経験により、日本のメーカーの販売網を30の国と地域、60店舗に拡大した経験があります。

神田は日本の職人技を世界規模で継続的に推進することを目指しています。

### KOYORI

KOYORIは日本全国の優れたモノづくりを行う企業とそのモノづくりを世界に伝える力を持つ企業がアライアンスを組むとともに、卓越した日本の製造技術と国際的なコンテンツクリエイターが協働することにより、絶対的な信頼性のある品質を備えたボーダレスなデザインの家具とインテリアアクセサリーを提供することを目指したブランドです。

日本語の「紙縫（こより）」から取ったブランド名のKOYORI。紙縫は古くから日本でのお祝い事に欠かせない水引の素材であり、ブランド名には結びつきの意味も込められています。

### サステナビリティ

KOYORIは、グローバルブランドとして、サステナブルであることを目指しています。日本の職人技の美しさ、創造性、真正さを継承し、それを国際市場に伝えていくため永く使っていただける商品を創り続けることに加えて、私たちは生産と配送のプロセスが持続可能であることを保証し、透明性の文化を持つリーディングブランドになります。

最初のステップとして、カーボンフットプリントの透明性を確立するために、商品によって生成されたカーボンフットプリントを測定し、その結果をWebサイトに公開します。次のステップ以降も、製品ライフサイクル全体で二酸化炭素排出量を削減するために毎年新たな課題を立て、解決に向けて継続的に取り組み、一歩ずつ進んで行きます。

#### プレスお問合せ先：HOW INC.

MAIL : [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp)

TEL : 03-5414-6405

#### 読者お問合せ先

MAIL : [info@koyori-jp.com](mailto:info@koyori-jp.com)

TEL: 03-6427-1505



## KOYORI, The Twist: Cultural and Emotional Crossings

Milan Design Week

期間：2022年6月3日（金）～12日（日）11:00 am～9:00 pm

会場：Triennale Milano /Viale Alemagna, 6 20121 - Milan

Press Preview RSVP

2022年6月6日（月）11:00 am～9:00 pm

\*デザインを手掛けた Ronan Bouroullec と GamFratesi、

KOYORIエグゼクティブ・ディレクターの神田が11:00～12:00

インタビューに対応いたします。

\*プレスレビューへのご参加およびインタビューリクエストについては、6月5日（日）までにご連絡ください。なお、インタビューリクエストにはお応えできない可能性がございます。予めご了承ください。

\*RSVP HOW INC.までお申し込みください。 event@how-pr.co.jp

KOYORI は、ミラノデザインウィーク期間中に、Triennale Milanoにてエキシビションを開催し、グローバルローンチをいたします。

商品および展示を通じ、東洋と西洋そして革新と伝統の融合だけでなく、日本の価値観、素材、クラフツマンシップを表現します。まるで紙繕りが紙をねじってつくり出されるように、文化や視座が混ざり合う、KOYORIのファーストコレクションを発表するのに相応しいエキシビションです。

ぜひご期待ください。

パリを拠点に活躍する兄弟デュオ Ronan & Erwan Bouroullec、コペンハーゲンを拠点に活躍するデュオ GamFratesi がデザインした5モデルのチェアをご覧いただけます。会場の空間デザインはGamFratesiが手がけました。また、チェアに加え、開発中のテーブルも展示する予定です。

